

ふじみみ 令和2年3月号



(経営理念)

練馬区社会福祉事業団は、人権尊重を理念とし、地域で最も信頼され、喜ばれるサービスの提供を、効率的でバランスのとれた経営を持って行い、区民福祉の向上を図ります。

発行 富士見台デイサービスセンター

“節分” 鬼は～外お おお 福は～内 いい



2月1日(土)と2月3日(月)の2日間、富士見台デイサービスセンターでは、節分行事を行いました。今年は青鬼が襲来し、皆様と一緒に大きな声で、「鬼は外お おお、福は内 いい」と言ってボールを投げて青鬼を退治しました。季節の行事を楽しむのはもちろんですが、ボールを投げる動作から機能訓練の効果も期待できる活動になりました。デイサービスセンターでの活動は、一つの活動や行事から様々な効果や効能を期待できるものになっています。令和2年度も効果効能を期待できる活動を企画していますので、ご参加ください。



練馬区立石神井東小学校との地域交流会



練馬区立石神井東小学校5年生との交流会を3回に渡って行ってきました。第1回目はデイサービスセンターのことを知ってもらうために、見学にきてもらいました。第2回目は、高齢者の理解を深めるために総合学習の時間に訪問し、高齢者疑似体験と車いす体験をしてもらいました。高齢者疑似体験をする中で「視界が凄く狭い」「腕や足、そして体が重い」「車いすは便利だけど、使い方を間違えると危ない」「貴重な体験ができました」などたくさんの感想をいただきました。第3回目は、デイサービスセンターでの交流会です。この日のために小学生達がセンターのお客様と楽しく交流できるゲームなどを考えてきて実際に楽しみました。成功するグループもあれば失敗するグループもありましたが、世代を超えて笑顔の絶えない時間を過ごせたことが何よりも貴重な体験であったと思います。定期的に交流会を開催し、お互いに貴重な時間を過ごせる機会を提供していきたいと改めて感じました。



富士見台デイの取り組み “環境づくり” ～PEAP (ピープ) の視点～

富士見台デイサービスセンターをご利用される方々の“安心”や“快”を感じていただくための環境づくり(望ましい環境)について、研修や事例検討会を通じて理解を深めています。

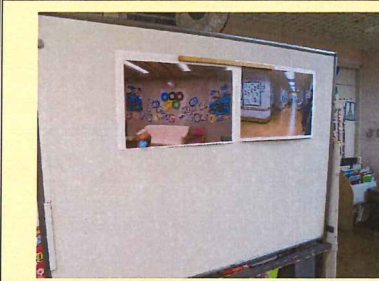
認知症高齢者ケアについては、現在様々な考え方や支援方法が言われています。そのなかでもPEAPは、認知症高齢者を取り巻く物理的環境認識とニーズに焦点を当てた指針になります。

どのような環境設定をすればよいのか考えたり、現状において足りないものや、反対に優れている点は何かなど、デイサービスセンターの環境について職員同士で考え、環境づくりを実践しているところです。何か変わったところがあれば、それは環境づくりの実践かもしれません。疑問に思ったら職員に尋ねてみてください。

※Professional Environmental Assessment Protocol(専門的環境支援指針)の頭文字でPEAP(ピープ)



認知症ケア推進委員による環境づくり研修



環境づくりする場所は、デイルームの一部になりました。



介護士、看護師、機能訓練指導員が参加しての研修会



練馬区内の情報



練馬区内での新型コロナウイルスは発生していませんが、感染症患者が国内でも確認されていることを踏まえ、練馬区では健康危機管理対策本部を1月30日に設置し、その対策としてコールセンターを開設したそうです。2月4日(火)から開設し、平日午前9時から午後5時まで保健師が対応しています。夜間や休日は、国および東京都の相談窓口が対応します。

練馬区民等からの問い合わせとして、1日20件前後の相談が寄せられ、相談内容の傾向は検査に対する問い合わせが増えているそうです。「検査はどこで受けられるのか」「診療を断られた。どこで診てもらえるのか。」「中国出張から帰ってきた社員に検査を受けさせたい」「感染していない証明書を持ってくるように会社・保育園から言われたがどうすればよいか」など、国内でのヒトヒト感染が確認されたことや無症状の人からも感染が確認されたことを受け、今後相談件数の著しい増加が見込まれると練馬区では想定しているそうです。

風邪やインフルエンザと同様に、まずは、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って口や鼻をおさえる「咳エチケット」や、石けんを使った手洗いなどの感染症対策を行うことが重要です。個人でできる基本的な対策をとっていきましょう。

富士見台デイサービスセンターでは、毎月の活動の様子や機能訓練の情報をホームページのブログでもお知らせをしています。

富士見台デイサービスセンター

富士見台デイ

検索